

東地申53号  
2月21日開催

## 尾久車両センターにおける作業体制の見直しについての申し入れ

1. 尾久車両センターにおける作業体制の見直しについて、平成31年3月ダイヤ改正の中で提案した理由を明らかにすること。また、今後目的や内容の違う施策については個別に提案すること。

【会社回答】ダイヤ改正に伴い作業ダイヤ等が変更となることから提案したものである。

主な議論

(組合) なぜダイヤ改正の中で提案したのか具体的な根拠を示すこと。

(会社) ダイヤ改正で列車ダイヤや構内の入換作業時間が若干変更されるためである。

(組合) 輸送改善施策と関係がない！日付が同日という理由でダイヤ改正の中で提案しているのか？

(会社) 輸送施策で仕業検査の本数に変更はなく業務量は変わらない。効率的な体制にするためだ。

(組合) ダイヤ改正の中で提案されれば、施策の目的や内容が分からない！別途提案すべきだ！

(会社) 質問があれば提案の場において口頭で回答している。

(組合) 事前の説明もない中で提案された。ダイヤ改正の中で提案するのであれば、提案資料の中に施策の目的や内容がわかる書面を出すこと！

(会社) 主張は認識しているが、ダイヤ改正に関わるという会社の認識から提案している。

(組合) これまでも説明等の場で書面を示してきている。一方的に変えていくことは認められない！進め方は今後検討すること。

(会社) 了解。

## 一方的に施策の進め方を変更することは認められない！

2. 尾久車両センターにおける作業体制の見直しについての目的を明確にすること。また、実施日を3月16日とした根拠を示すこと。

【会社回答】効率的な業務体制とする目的から、保全グループが仕業検査班の業務の一部担うこととした。また、ダイヤ改正に伴い作業ダイヤ等の変更が発生することから、実施日を3月16日としたものである。

主な議論

(組合) 施策の目的を具体的に示すこと。

(会社) 効率化である。

### 効率化のみを目的とした施策であることが明らかに！！

(組合) 施策の内容を具体的に示すこと。

(会社) ダイヤ改正で定期・臨時の仕業検査本数は変わらないが、E26系の仕業検査を保全グループに担ってもらい、作業の持ち替えを行うことで仕業グループの体制を2徹3日勤から2徹1日勤とし、効率的な体制とした。

(組合) 日中帯の臨時仕業検査は体制変更により行えないと認識しているが、会社の認識を明らかにすること。

(会社) 番線が埋まってしまうことや 体制変更により日中帯の臨時仕業検査は厳しいという認識だ。また、そのことについては指令へも伝えていく。

### 臨時の仕業検査ができなくなることを確認！

3. 尾久車両センターの要員実態を明らかにし、将来展望を示すこと。また、技術・技能継承できる体制とすること。

【会社回答】業務に必要な要員は確保していく。また、必要な教育は実施していく。

主な議論

(組合) 将来展望を示すこと。また要員実態を明らかにすること。仕業検査グループの養成を行うこと！

(会社) これまでと役割は変わらない。5年で20人程度退職し、新規採用は2~3名毎年採用している。仕業グループはすべて昭和採であり5年で全員退職するため体制を維持していくため今後養成し平成採を入れていく。

### 体制を維持するために養成していくことを確認！

4. E001系の仕業検査について、現行通り仕業検査グループと保全グループの4名体制で行うこと。

5. E26系の臨時仕業検査は保全グループで行い、運行前整備については仕業検査グループで行うこと。

6. E655系、ホキ車の臨時仕業検査は仕業検査グループで行うこと。

【会社回答】作業分担については、箇所指定している。

## 体制見直し以降、尾久車両センターの将来を展望し検証運動を強化しよう！